

19万人のひろば



▲こっちむいて! やっち ▲やっちのカードめくり
 ■やっち関連商品が続々登場、子ども向けアプリも
 市ホームページ「やっち情報局」では、各事業所や個人で製作されたやっち関連商品を紹介しています。子ども向けのスマートフォンアプリも登場。現在、Android版が無料で公開されています。より身近になったやっちをこれからもよろしくお願いいたします。

ありがとうございました

- 中央図書館の開館に向けて、匿名で50万円の寄附をいただきました。図書購入に活用させていただきます。
- 「災害対策事業に役立ててください」と連合千葉総武地域協議会様から5万600円の寄附をいただきました。

県建築士会・県建築士事務所協会と応急対策活動協定締結

2月26日、市は(一社)千葉県建築士会八千代支部及び(社)千葉県建築士事務所協会八千代支部と「地震災害発生時における応急対策活動に関する協定書」を締結しました。地震災害発生時に、市内の応急危険度判定士が速やかに被災建築物の応急危険度判定などの応急対策活動を行えるよう協力体制を整備します。同判定士は、防災拠点施設や家屋などが倒壊する危険性の判定などを行います。



▲震災時の危険度判定の様子

社会の一員として、一つひとつの作業を丁寧に

開所30周年を迎えた福祉作業所「つばさ」の施設公開

市内に3か所の福祉作業所があることを知っていますか。八千代市福祉作業所「つばさ」は、知的障害を持つ人が働き、生活の自立や社会参加を目指して活動する施設で、昭和58年に開所しました。米本に第1・第2作業所、高津に第3作業所があり、いずれも障害者(児)の保護者によって結成されたNPO法人「八千代市手をつなぐ親の会」が運営。現在62人が、企業から受注したボルトの組み立てを中心に、石けん作り、野菜作りなどに励んでいます。30年以上通う人や、仲間と作業するうちに人との交流が楽しめるようになった人も。「彼らにとっては、施設というより楽しい会社という感覚なのかもしれません」と岩崎孝夫施設長。



▲丁寧に根気よくボルトを組み立てています(2月18日、第1作業所)

作業以外にもクラブ活動などを通じて、自発性や協調性を身につけています。1年を通じて公開を行っていますので、ぜひ立ち寄ってみてください。

夏に向けて「八千代ふるさと音頭」をマスター

大和田公民館の主催講座「盆踊りを先取り！」



▲「八千代ふるさと音頭」では、指先を真っ直ぐ伸ばしましょう

2月14、17、24日の3日間、大和田公民館で主催講座「盆踊りを先取り！」が行われ、21人が参加しました。まだまだ寒いこの時期から「八千代ふるさと音頭」を習得し、8月のふるさと親子祭で一緒に踊ってもらおうと企画。「東京音頭」「炭坑節」も一緒に練習しました。「八千代ふるさと音頭」は市制10周年記念として作られたもの。当時指導に携わった藤間寿枝国さんが講師となり、手足の動きや目線を全員で揃えていきます。始めは動きがぎこちなかった参加者も、練習を重ねるうちにリズムに合わせて踊れるように。みんなの動きが1つに揃うとあちこちから笑顔がこぼれました。参加者は「今後も毎日練習して完璧にしたい」と意気込んでいました。



リサイクル・ガイド

消費生活センター 485-0559

●この欄のお問い合わせは消費生活センターへ。受け付けは土曜・日曜日、祝日を除く午前8時30分から午後5時まで(午後4時～5時は☎483-1151へ)。交渉は当事者で行い、結果は必ず同センターへ報告を。
【あげます】 ▶フォーマルワンピース(黒・L～LLサイズ・新品) ▶五月人形 ▶洋服ダンス(引き出しなし、高さ190cm×幅100cm×奥行40cm) ▶日立製洗濯機(4.2kg)

【ゆずります/有料】 ▶女性用ダッフルコート(ダークグレー・学生向け) ▶女性用ローファー(茶色・23.5cm・新品)
【ゆずって/有料】 ▶村上中学校制服(男子上下・175cm) ▶小型冷蔵庫(50ℓ)
 ◆市役所1階ロビーのリサイクル品情報コーナーもご利用ください。また、同センターでは、食品の放射性物質検査も行っています

八千代歌壇

八千代市短歌会選

広報雑記帳から 3月も半ばとなりましたが、まだ寒い日が続いていますね。暦の上では春となり、卒業や入学、入社などで引越す人もいないでしょうか。この「引越し」という言葉、語源は諸説あり、一説では、かつて貴族の間で官位が上がり、より広い土地に住むことを指していたとか。次第に商いで成功した商人たちの間で、新しい屋敷に移り住む縁起のよい出世言葉として使われるようになったそうです。そんな引越して毎回悩むのは、大量の荷物の整理。「いつか使うだろう」と思っている、実際には前回の引越してから段ボールすら開けていないことも。上手く整理して、気持ちのよい環境で過ごしたいものです。

帰るなど握る老いの手労わりて完全看護の部屋をあとにす
 (大和田 飯名 好子)

水仙の球根白き根をのぼしプランターの中にジャンプして
 (八千代台南) 桑原 慎子

日の出より浅草行きの水バスゆりかもめ乗せてスカイツ
 リー見す
 (下市場) 村越喜美子

さきがけて咲きし蠟梅の花見んと送迎バスを待たずに歩く
 (大和田新田) 増尾 克子

七草のなづなの粥を喰いはぐれ浮世の義理へ着ぶくれてゆ
 く
 (八千代台西) 元村 泰介

演技のあとに笑いたま泣き感情の表現豊かなフィギュアの
 選手
 (大和田) 紺野 正勝

感動に心ときめくことも減り思ひわづらふ不意の結滞に
 (八千代台南) 一戸 光代

皇室活動は憲法順守の立場でと傘寿を迎える天皇陛下
 (大和田新田) 児玉 将孝

選評 一首目、上の句に作者の優しさとの下の句に誰にも訪
 ずれる老の寂しさがうたわれている。帰るなど握る手、

その手を労わってあとにする人の気持、辛けれどお互に想いやる気持が感じられる。二首目、プランターの中の水仙の球根が根をのぼしてその白い根がジャンプしながら春を待っている様に感じられ春の楽しみに浸っている様子がうかがえる。三首目、作者は日の出から浅草行きの水バスに乗った折にゆりかもめと同乗してスカイツリーを見せた気分だったのか。

やちよ川柳

八千代川柳連盟選

まだ咲くぞ後期高齢空元氣 大和田新田 渡辺 恵子
 同じ事何度もこぼす妻の愚痴米 本 山崎すず夢
 握手した手からときめく音を聞く 大和田新田 加茂 英代
 頭髪に会話が弾むクラス会 大和田新田 羽村田 廣
 頭突き入れ身体ぶつかる土俵上 萱田 町 藤田異三夢
 この冬を越せば時きたい花がある 八千代台北 皆川 治
 争いを避けて心を固く閉じ 勝田台南 樋口きく江
 人生のドラマ生きてる黄金虫 萱田 町 武藤 邦子